

令和元年度の実施状況

	対象校 (校)	開催校数 (校)	中止・ 未実施	参加人数(人) ()内は昨年度	開催割合(%)
					()内は昨年度
小学校	665	651	14	31,014 (46,486)	100 (100)
中学校	317	307	10	21,172 (27,065)	100 (100)
高等学校	127	124	3	5,903 (5,354)	100 (100)
特別支援学校	38	38	0	2,418 (2,588)	100 (100)
義務教育学校	2	2	0	48 (57)	100 (100)
計	1,149	1,122	27	60,555 (81,550)	100 (100)

※千葉県立学校を除く

* 27校は、自然災害や感染症予防により中止

◇ミニ集会で話し合われたテーマ

○学校・家庭・地域の連携について

- ・ 学校・保護者・地域が連携したよりよい学校づくり
- ・ コミュニティ・スクールについて
- ・ 地域の見守り活動の推進について
- ・ 地域で考える防災・防犯
- ・ 学校・地域・家庭の連携によるキャリア教育のあり方
- ・ 地域・家庭との連携による教育活動の充実について
- ・ 二次福祉避難所のあり方について
- ・ 子供の自立を育む関係者等の関わりについて
- ・ 地域の福祉教育について

○学校の運営や指導に関すること

- ・ 次世代に向けた学校づくり
- ・ グローバル人材の育成について
- ・ 学校支援ボランティアの活動について
- ・ 子供の道徳性を高める取組について
- ・ 部活動のあり方・推進について
- ・ 地域と連携した特色ある教育活動
- ・ いじめ防止に向けた活動の推進について
- ・ 国際理解教育について

○子育てやしつけについて

- ・ よりよい親子関係づくりについて
- ・ 早寝・早起き・朝ごはん
- ・ 人権や命について考え、感じ、子育てについて考える
- ・ 家庭教育の今日的課題について
- ・ 一人で悩まない子育てネットワーク
- ・ 親子のコミュニケーションづくりについて
- ・ 思春期の子育てについて
- ・ 食育の必要性和私たちの体について～家庭との連携～

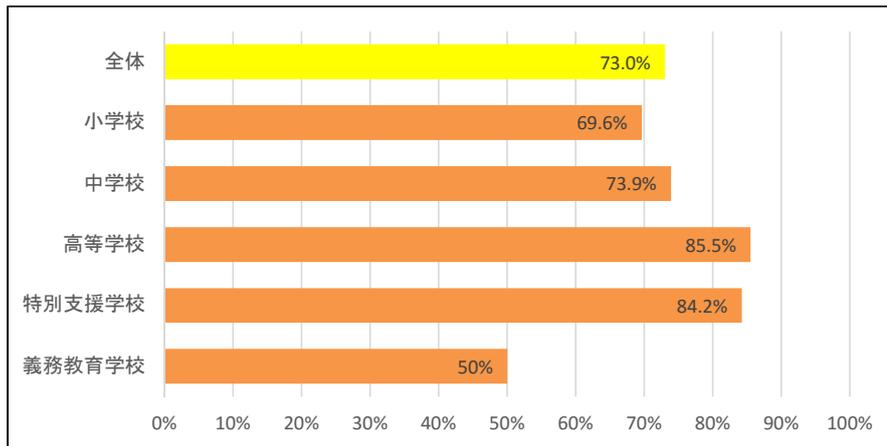
○その他

- ・ ネット利用のルール作りについて
- ・ 薬物乱用防止について地域でできること
- ・ 食と歯の健康について
- ・ オリンピック・パラリンピックについて
- ・ 平和と人権について
- ・ おこづかい、お金の使い方について
- ・ SOS教育について
- ・ 共生社会に向けて、子育てで取り組んでいきたいこと
- ・ 交通安全(自転車のマナー・乗り方)について

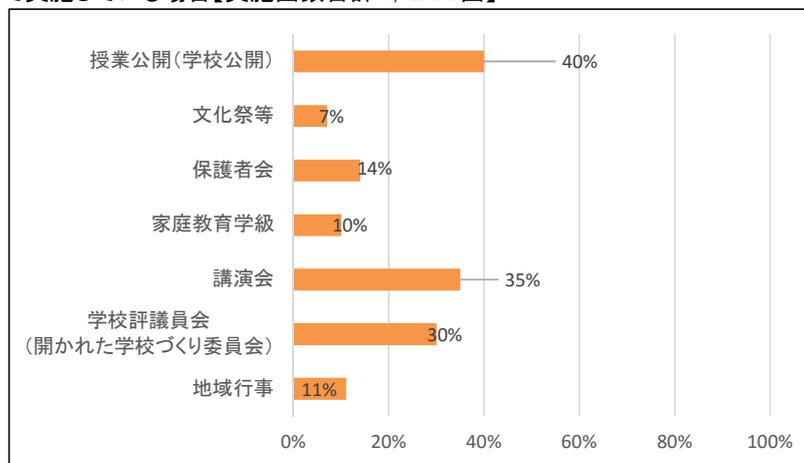
◇ミニ集会の成果や地域活動等に発展した例

- ・地域と学校との連携の在り方を再認識し、新たな取組を考える契機となった。
- ・地域や保護者の本校への期待やニーズを直接把握する機会になった。
- ・家庭・地域の幅広い意見を伺い、学校に寄せられている期待や課題を確認することができた。
- ・近隣の危険箇所・防災体制について共通理解することができた。
- ・地域住民が学校とのより深い関りを望んでいることが分かった。
- ・学校評価について、評価方法を見直すよい機会になった。
- ・減災・防災に関する課題が明確になり、学校としての対応を進めていきたい。
- ・少年犯罪から子供を守るために、地域で協力して見守っていくことの意識が高まった。
- ・児童虐待や少年非行の現状や対応について、教職員や保護者の理解が深まった。
- ・情報モラルについて、家庭と学校が連携し、子供たちに伝えなければならないという意識が高まった。
- ・保護者及び地域の方々に対して、読書の大切さを啓発することができた。
- ・子供の健やかな成長について、地域・家庭で一緒に考えることができた。
- ・各家庭で困っていることが共通しており、みんなで考え解決しようという機運が高まった。
- ・子供たちとのディスカッションをとおして、地域住民の防災に対する意識が高まった。
- ・思春期や反抗期を迎える子供に対する対応の仕方のヒントになった。
- ・学校が取り組んでいる働き方改革について、多くの肯定的な意見を得ることができた。
- ・保護者が不安に感じていることについて、保護者同士で意見交換する場を提供することができた。
- ・学校だけでなく、家庭や地域、関係機関と協力し、生徒の安全を守っていくことを再認識できた。
- ・地域における事故や犯罪の発生状況を聞くことができ、防犯意識が高まった。
- ・他校種、青少年健全育成協議会と連携し、道徳教育への学校の取組を情報発信することができた。
- ・地域が抱える課題を意見交換したことで、教職員の地域連携に対する意識が高まった。

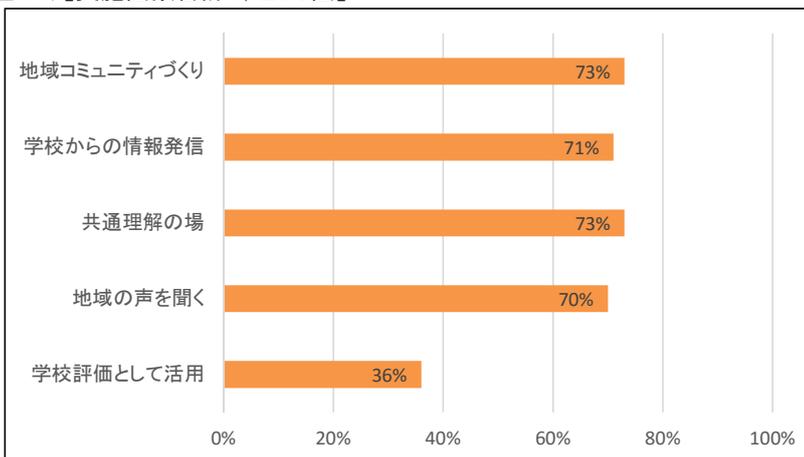
○開催校のうち、地域とともに企画運営している割合【実施回数合計1, 263回】



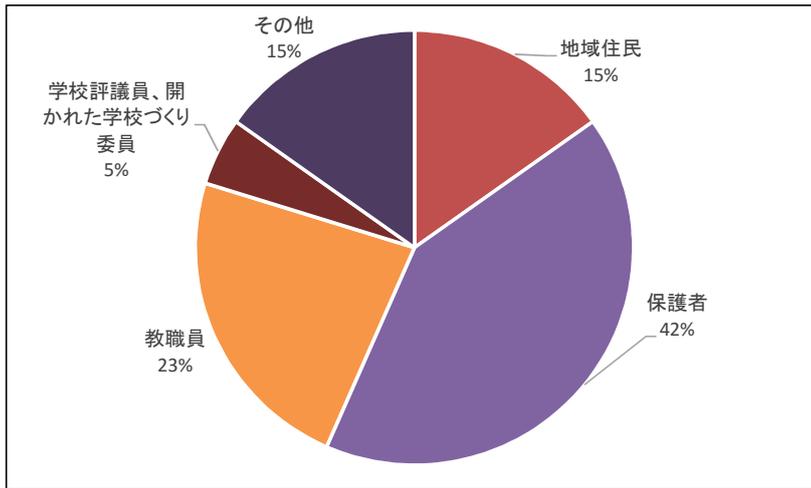
○他行事とセットで実施している場合【実施回数合計1, 263回】



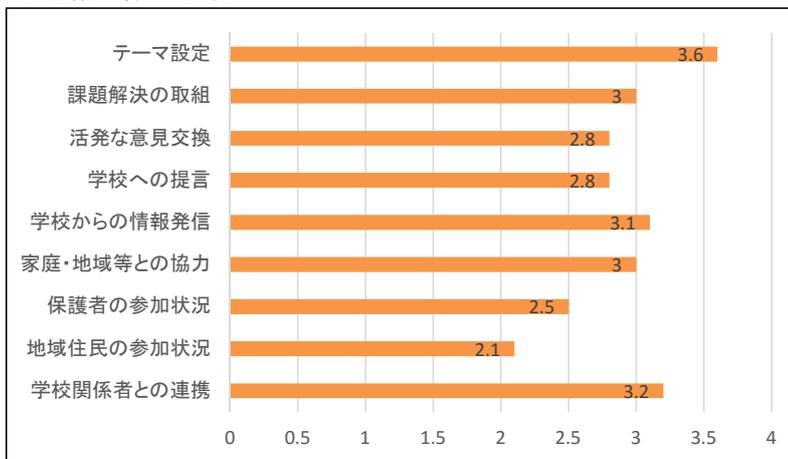
○ミニ集会の位置づけ【実施回数合計1, 263回】



○参加者の割合【参加者合計60,555人】



○ミニ集会の評価(4段階全体の平均)



○次年度の工夫・改善したい点

